

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

塩谷惠策 SJ

44

第十二幕 第5場

ヴェネチア共和国総督府

会見の間

1523年6月

登場人物：	イニゴ・デ・ロヨラ	巡礼者
	マルコ・アントニオ・トレビサーノ	恩人
	アンドレア グリッティ	ヴェネチア共和国総督(Doge)
	トレヴィサーノ夫人	
	子供たち	

【語り】 サン・マルコ広場で野宿していたイニゴを自宅に招き入れ、エルサレムへ向けて出帆するまでイニゴを泊めて世話をしていたスペイン人の資産家トレビサーノ氏の仲介により、イニゴはヴェネチア共和国総督と会見することが出来た。（註12）

総督 (Doge) : ようこそ。どうぞこちらへ。

トレヴィサーノ氏 : 願いが叶い光栄に存じます。私どもにお会いくださる機会
を与えてくださり ありがとうございます。この方が先日お話し申し
上げた巡礼者です。

総督 : (スペイン語で) ようこそ 巡礼のお方。トレヴィサーノ氏から あ
なたのことを伺っています。

イニゴ : はじめてお目にかかります。トレヴィサーノ氏にはとてもお世話にな
っております。

総督 : ヴェネツィアにはいつお着きになりましたか？

イニゴ : 5月の半ばでした。

総督 : おお そうですか！私が就任した頃ですね！

トレヴィサーノ氏 : この方は、イエス様の使徒たちと同じように、余分なもの
を何一つ持たず、エルサレム巡礼についてもすべてを神に
委ねておられます。

総督 : 去年の暮れ、ロードス島がトルコの手に落ちてから、地中海の航海が
非常に危険になり、巡礼者方の多くが家に帰られました。残っておら
れる巡礼者はあなたを含めて21人だけです。

イニゴ : ロードス陥落後、公開が危険になったのは承知しております。しかし、
神が私をエルサレムに呼んでくださっていると確信しておりますので、

巡礼が可能になるようお助け下さるに違いありません。

私は無一文で、船賃を払えませんが、今回も神が何とかしてくださると信頼しています。

総督： 私が神様のささやかな道具になりましょう。聖地への往復の旅費については、ご心配には及びません。私が船を手配します。

イニゴ：まことにかたじけないことです。

総督： 今年の巡礼希望者は、貴方を加えて 21 人です。巡礼船を仕立てるには人数が少なすぎるので、一般の商船 2 隻に分乗していただきます。貴方は、この度キプロス島の知事に任命された人々と一緒に行く 7 人の巡礼者に加えられるよう命令を出します。ネグローナ (Negrona) は新しいし、いい船ですよ。

イニゴ：有難うございます。神と貴方に心から感謝申し上げます。